

今月号の主な内容

ふるさと 香美

- ・観光との連携を強める香美町の水産 … P. 2～3
- ・最重点課題事業（小代区）の取り組み … P. 4
- ・山の祭典 但馬牛 食まつり … P. 5
 こんにちは町長です
- ・「サクラ記念植樹の森」づくり … P. 6
- ・第2回かすみ！カニ検定 … P. 7
- ・行政トピックス … P.8～9
- ・まちの出来事 … P.10～11
- ・キラリ香美町 … P.12
 （別冊 けいじばん、いきいきカレンダー）



【写真】 **但馬牛もう〜と食べ大会 タイムレース**

香美町山の祭典 但馬牛 食まつり（小代区）

11月1日、2日にかけて開催された“但馬牛 食まつり”。2日目に行われた“但馬牛もう〜と食べ大会 タイムレース”は、机の両端に立った2人が、長いはしで互いに但馬牛のサイコロステーキを食べさせ合う競争。出場した9組の選手たちの悪戦苦闘ぶりに、観客からは笑い声や声援が飛び交っていました。

観光との連携を強める香美町の水産



まちづくりを進めていくためには、産業の振興による地域の活性化が必要で、そのため、香美町では合併時から豊かな自然や優れた特産物を生かした観光業の振興と、水産業や農・畜産業などとの連携による産業振興対策に力を入れてきました。

特に香住区にあつては、松葉ガニや活イカなどの新鮮な魚介類や多様な水産加工品などを生かして、水産と観光との一層の連携を図つたまちづくりに取り組んでいるところです。

ら40年代中ごろまで沖合イカ釣漁業が急速な伸びを見せました。また、ベニズワイガニかご漁業も盛んとなり、ズワイガニ（松葉ガニ）、ハタハタ、カレイ、スルメイカなどともにベニズワイガニ（香住ガニ）も重要な観光資源となっています。

沖合底曳網漁業は中心的水産で、昭和7年、兵庫県試験船により、日本海の旧ソ連領沿海州沖合漁場が発見され、飛躍的な発展を遂げました。

しかし、かつては約60隻を数えていた漁船数は、資源の減少や乗組員の確保難から減少し、現在、ベニズワイガニかご漁船を含めて30隻という状況になっています。それに、沿岸一本釣漁船が約210隻あります。

水産資源が減少するなか、TAC（漁獲可能量）制度、日本海沖合ベニズワイガニ資源回復計画（休漁期間の延長）など、漁業者の資源管理・回復への取り組みにより、ここ数年、

漁獲量は安定傾向にあります。平成19年（1月～12月）の総漁獲量は約8000t、総漁獲高は約44億円で、そのうち、沖合底曳網漁業の漁獲量は約4400tで55%を占め、漁獲高も約32億円と73%を占めています。

なかでもズワイガニは、近年、年々漁獲量も増え、山陰では1位、2位を争う漁獲量であり、「カニの本場・香住」として、評価を高めてきました。

なかでも、柴山港に水揚げされるズワイガニのオスは、以前は単に「松葉ガニ」と呼んでいましたが、古くからおよそ100種類もの選別を行って品質管理に努めてきましたので、数年前から、その品質の高さをアピールするため、「柴山ガニ」と命名されているところです。

ベニズワイガニかご漁業は、県下では唯一、香住港の漁船しか操業していませんので、近年では「香住ガニ」と呼んでいます。

水産加工業

町内の港で水揚げされたシロイカ、ベニズワイガニ、ズワイガニは、それぞれ夏、秋、冬を代表する味覚となつており、地元民の宿、旅館で「活イカ」、「カニすき」などとして提供され、また、活イカ、カニをPRするイベントも多数開催されるなど、観光の目玉として観光客から高い評価を得ています。

水産加工業は、香住港、柴山港から水揚げされる魚を中心に、国内外からも原料魚を移入・輸入して、一次加工を中心に発展してきました。事業規模は、中小・零細な経営規模がほとんどを占めていますが、全国に誇れる高度な、かつ多様な一次加工技術を有し、「香住ブランド」として名を高めています。現在、二大漁港の周辺に70社余りの水産加工業者が軒を連ねています。

塩干製品の加工は、昭和30年代の前半までは天日による自然乾燥であつたため、春秋期の降雨時には製品が腐敗するなど苦労していましたが、昭和34年に兵庫県水産試験場が考案した「兵水式魚類人工乾燥機」

漁業

香美町の漁業は、香住港、柴山港の二大漁港を背景に、古くから機船底曳網漁業と沿岸一本釣漁業を中心に発展してきました。

その後、まき網漁業が営まれるようになり、特に、昭和30年代後半か

の普及により、加工場の終日稼働と製品の均一性が実現しました。

さらに、昭和50年代には、魚類人工乾燥機の冷風化の実現により、年間操業が可能になり、同時に、製品の品質が一層安定したものとなったことから、「香住産」といえば良品質というイメージが京阪神方面の中央卸売市場に浸透していきました。

このように、従来の勘と経験による加工技術に加え、県の但馬水産技術センターの支援などを得て、科学的データをもとに、新しい加工技術や装置、安全性の高い流通、保蔵技術や資材などを積極的に取り入れています。歴史と伝統の良さを守りながらも、新しい時代のニーズに対応した、さまざまな水産加工品を製造しています。

主なものとして、カレイ、ハタハタ、ニギスなどの塩干製品、カニの身抜



▲活気あふれる松葉ガニの競り

き製品、ニギス、サバなどの焼製品、すり身を使った竹輪やかまぼこなどの練製品、ズワイガニ、ベニズワイガニ、スルメイカ、ホタルイカなどの茹製品、カニ、エビなどの冷凍品、ホタルイカ、かにみそなどの珍味などがあります。材料や製造方法が多様で、加工品の種類も大変豊富です。

これらの製品を京阪神をはじめ全国の中央卸売市場へ出荷するほか、スーパーなどの量販店への直接出荷やインターネットでの販売も行っています。

また、山陰地方随一の規模を誇る香住東港にある海産物直売センター「かすみ朝市センター」では、地元で水揚げされた新鮮な魚介類を中心に、多様な水産加工品も販売され、特に松葉ガニシーズンの11月から3月は大勢の観光客で賑わい、観光スポットとなっております。



▲丹精込めてつくられた特産の水産加工品

「これからの香美町の水産業」

漁業をめぐる情勢は、水産資源の減少、燃油高騰、後継者不足など大変厳しい環境下にあります。

このため、休業期間の設定、魚礁の造成や築いその設置などによる漁場の整備を進める一方、県や但馬沿岸市町と各漁協などが協力してヒラメ、アブリなどの種苗の放流事業を実施するなど、水産資源の保護・増強に取り組んでいます。さらに一層、その強化に努めていかなければなりません。

国が平成19年度から26年度までの7年間、「フロンティア漁場整備事業」として、兵庫県、鳥取県、島根県の日本海西部沖合の排他的経済水域（EEZ）に整備するズワイガニなどの保護育成礁の設置には、町内の漁船の主たる漁場であるため、大いに期

待してるところです。

また、国の燃油高騰水産業緊急対策を補完するため、今年度、町においても燃油高騰緊急対策を講じたところでです。

水産加工業をめぐる情勢も、不況魚離れ、安価な輸入加工品の増加などによる販売不振と価格の低迷、原油価格の高騰による関係資材の価格高騰、資源の減少に加え、世界的な水産物需要の高まりによる原料魚の確保難など、極めて厳しい経営環境にあります。

このため、今年度、水産加工業についても町の経営安定緊急対策を講じたところでです。

また、「魚離れ」対策として、これまでの学校給食、各種料理教室などへの地元産の魚介類の提供に加え、今年度からは若い母親を中心としたお魚料理教室も開催しており、魚食普及および地産地消の推進を図っているところでです。

今後引き続き必要な支援をし、水産業の経営安定化に努めていきたいと考えています。

一方、地域の活性化を図っていくためには、水産と観光との連携を一層強化していかなければなりません。そのためには、いかに新鮮な魚介類を提供していくかにかかっています。そのため、松葉ガニにしてもシロイカにしても、生きたまま持ち帰ってこれるよう、必要な設備の整備に一層努力していきたいと考えています。



▲朝市センターでお土産を選ぶ観光客

最重点課題事業（小代区）の取り組み状況について

合併後の各区の均衡ある発展を目指して取り組んでおります最重点課題事業のうち、残る小代区の事業についても、順次、事業を進めておりますのでその内容などをお知らせします。

●小代区の最重点課題事業は、当初、健康増進施設整備事業としてのグラウンドゴルフ場（小代健康公園）整備事業と健康増進センター建設事業を予定していましたが、小代区地域協議会などの検討を踏まえて見直し、既存施設の改修、整備による有効活用を行うことにより、地域の活性化を図ることとしました。

●小代健康公園整備

平成17年度から19年度事業で芝生広場1面とグラウンド1面を整備し、中山間地域総合整備事業で整備した照明施設付きの芝生広場と一体として小代健康公園としました。

この公園では、グラウンドゴルフをはじめさまざまなスポーツを楽しむことができ、町民の健康づくりと



▲交流の場、憩いの場となっている健康公園

憩いの場として、さらに都市住民との交流の場として広く活用していただくこととしています。

また、昭和35年に建設され老朽化が激しい旧小代中学校の体育館を解体し、同公園の駐車場として整備する計画で、本年度測量設計を行い、来年度に工事を行う予定です。



▲改修工事が完了したおじろドーム

●おじろドーム施設整備

おじろドームは、昭和63年の竣工以来、小代区唯一の社会体育向けの体育館として広く活用されてきましたが、老朽化による雨漏りがあり、改修が必要となっていました。

平成19年度に、屋根のふき替えなどの改修を行ったほか、舞台照明などを整備し、文化活動にも広く利用できるよう利便性を高めしました。

●小代小学校プール改修

小代小学校のプールは、施設の老朽化により平成13年度から使用できなくなっており、児童は村岡区の小学校などのプールを借りて水泳の授業を受けていました。

本年度事業で約25m×13mのプールと洗面、シャワーユニットなどを改修しました。また、プール敷地内に保育園児も利用できる浅いプールを設置しました。

●小代小学校体育館整備

昭和44年度に建設した小代小学校体育館は、特に建物の基礎部分に変形するなど老朽化が激しく、耐震性が不足しているとともに、小代区の災害時の避難場所としても必要であり、改築が必要となっていました。

本年度事業で、既設の体育館を解体し、現位置に鉄骨平屋建て床面積720㎡の体育館を建設しており、平成21年3月に完成する予定です。

●温泉保養館おじろん整備事業

平成4年にオープンした温泉保養館おじろんは、町民の健康増進と、世代間および地域間交流の促進を目的に、小代区の拠点施設として活用されてきました。しかし、源泉施設などが著しく老朽化してきたため改修が必要となっていました。

改修にあたっては、新たに1階に露天風呂や寝ころび湯を整備し、健康増進施設としての機能の向上により、町民の憩いの場として、さらに集客力の向上による観光客の増加などで地域の活性化を図ります。

現在、改修工事中で、今年12月22日にリニューアルオープンする予定です。



▲リニューアルによって、さらなる賑わいが期待される温泉保養館おじろん

山の祭典 但馬牛食まつり 上質和牛の最高峰「但馬牛」尽くしの2日間

上質和牛の最高峰「但馬牛」の原産地を広くPRすることにも、山のまち 村岡区・小代区の豊かな食材をアピールするため、11月1日、2日の2日間にわたり、香美町山の祭典として「但馬牛食まつり」を開催しました。

1日目には、小代健康公園で「但馬牛杯」グラウンドゴルフ大会を実施。県下全域から256人（町内者92人）が参加し、1コート8ホールの2ゲームでスコアを競いました。上位入賞者は次のとおり。（敬称略）

1位 川村昭三さん（神戸市）



▲立派な但馬牛に触れて感激！

2位 永吉守さん（尼崎市）
3位 小林登洋子さん（小代区貫田）
4位 小林博さん（稲美町）
5位 柿本増雄さん（豊岡市）

2日目には、ゴンドラリフト駐車場で、但馬牛ホルモン鍋の無料サービス、但馬牛を使ったカレーや牛丼など11種類の料理、但馬牛もろろと食べ大会、但馬牛クイズなどが行われ、大勢の人出で賑わっていました。

但馬牛講演会では、講師に県立農業技術センターの野田昌伸主任研究員をお招きし、但馬牛の歴史



▲大人気だった但馬牛の焼き肉

や魅力について、詳しくわかりやすく語っていただきました。あまり知られていない興味深い内容もあり、参加者の皆さんも大変感心された様子でした。

「但馬牛もろろと食べ大会」タイムレースで優勝した朝田健吾さん・仁子さんご夫婦（神戸市）は、偶然うまく食べられました。必死で味はわかりませんでした。今度は但馬牛をゆっくり味わって食べたいです」と語りました。

また、この日は恒例の小代特産味まつりも同時開催され、スッポンやチヨウザメをはじめとする小代の食材にも人々が詰め掛け、長蛇の列ができていました。

今回の食まつりに合わせて香美町魅力体験ツアーが企画され、尼崎市、門真市、吹田市から訪れた観光客も、「但馬牛」をはじめとする特産品を満喫されていました。

このイベントをきっかけとして、但馬牛のおいしさを多くの皆さんに知っていただくことも、村岡区・小代区の旅館や民宿などが、但馬牛を中心とする豊かな食材を利用した名物料理の創作に取り組みなど、さらなる観光振興につながることを期待しています。

こんにすは町長です

戦争の風化

今年も、10月から11月初めにかけて、町内各区ごとに「戦没者追悼式」をとり行いました。

先の大戦の終結から63年、戦後生まれの人々が7割以上を占めるなか、あの痛ましい戦争の記憶がだんだんと風化しつつあります。

若い世代の中には、あの戦争があったことすら知らない人もあると聞きます。

日本全体で、兵士、一般国民あわせて約310万人の方々が、香美町でも1327人もの方々が犠牲となられました。

この方々の尊い犠牲の上に今日の平和と繁栄があることを考えます時、私達はいま一度、若い世代の人々へ、戦争の悲惨さを語り伝えていく努力をしていかなければならないと痛感しているところです。

香美町長 藤原久嗣



▲村岡区戦没者追悼式
(10月27日開催)

記念植樹でサクラいっぱいのもちづくり 第2回「サクラ記念植樹の森」づくり

「サクラを育てる日」と定めている10月の最終日曜日となった26日、次代にサクラの公園を残そうと、第2回となる「サクラ記念植樹の森」づくりを行いました。自宅の新築やお孫さんの誕生などの記念に、81組（香住区31組、村岡区30組、小代区20組）の皆さんが植樹に参加しました。

香住区では、香美町山手土地区画整理事業地内の公園にオオヤマザクラの苗木31本を植えました。次男の舜くんの1歳の記念に家族で参加した荒川博之さん（香住区香住）は「子どもの成長とともに、サクラも見守っていきたいです。お花見ができるのが、とても楽しみ。ここがサクラの名所になればいいですね」と語っていました。

村岡区では、御殿山公園にソメイヨシノの苗木30本を植えました。お孫さんの小学校入学記念で参加した今井英美さんとまゆみさん（村岡区村岡）は「毎年遠方に住んでいる孫たちと一緒に御殿山に花見に来ています。孫たちと

一緒に今回植樹した桜でお花見をするのが楽しみです」と語っていました。小代区では、広井山村広場にオオヤマザクラの苗木20本を植えました。小代小学校在学記念に植樹した川戸翔太さん（小代区忠宮）は「ほくの植えたサクラには、立派に大きくなってほし

いと思います。ほくも負けずに大きくなります」と話してくれました。なお、「サクラを育てる日」にちなんで、これまでに植樹した町内各所で、関係者が草刈りなどのサクラの世話に取り組んでいました。



▲香住区



▲村岡区



▲小代区

香美町マイバッグ運動スタート

10月1日から町を挙げて取り組みを始めた「香美町マイバッグ運動」。地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を削減するため、買い物時にマイバッグを持参し、レジ袋の削減を図ります。

この運動を広めるため、10月4日に香住区で、5日に村岡区で行った店頭キャンペーンでは、香美町消費者の会の協力を得て、パンフレットやエコバッグなどを配布し、町民の皆さんに参加を呼びかけました。

なお、平成21年度末までにマイバッグ持参率50%達成を目指して推進していきますので、皆さんのご協力をお願いします。



▲香住区でのキャンペーンの様子

第2回香住！カニ検定

全国から102人が挑戦
試験の後はカニ食べ放題

香住小学校体育館で10月19日（日）、第2回香住！カニ検定（同実行委員会主催）が行われました。

香住区は、全国屈指の松葉ガニの水揚量を誇るまち、そして近畿圏で唯一ベニズワイガニ（香住ガニ）が水揚げされるまちでもあります。カニのまちを広くアピールするため、昨年からの検定を実施。東は千葉県、西は福岡県から我こそは「カニ通」という102人が受験しました。

検定はカニや水産物、香住の歴史・文化に関する択一方式の100問、70問以上（小学生は65問以上）の正解で合格です。

また、もう一つの楽しみである試験後の「香住ガニの食べ放題」では、ゆでガニやカニ雑炊、カニ汁とカニいっぱいのもてなしに、参加者も大変満足していました。



▲真剣に試験に取り組む受験者



▲香住カニの食べ放題で大満足！

～今後のカニイベント予定～

●第26回かすみカニ場まつり

- ・とき 12月7日（日）9:00～13:00
- ・ところ 香住漁港西港

●第8回かすみカニ感謝祭

- ・とき 3月1日（日）8:30～12:00
- ・ところ 柴山漁港

二雑炊、カニ汁とカニいっぱいのもてなしに、参加者も大変満足していました。

合格者59人（合格率57・8%）、最高得点は93点で、今回初めて合格した受験者には「合格証」が、昨年に引き続き合格した受験者には「カニ准博士認定証」が交付されました。カニ准博士が来年も合格すると「カニ博士」の認定証が贈られる予定です。

町内で民宿を営み、昨年も見事合格、今回カニ准博士の称号に挑戦した上田ひろみさん（香住区七日市）は「試験前日は、検定に挑戦する宿泊客と一緒に勉強しました。昨年よりひねった問題が多く、手ごわかったです」と感想を話してくれました。

世界人権宣言60周年 人権擁護委員制度60周年

国際連合は、昭和23年12月10日第3回総会で世界人権宣言を採択しました。そして、12月10日を「人権デー」と定められたことにより、法務省と全国人権擁護委員連合会では、同日を最終日とする1週間を人権週間と定め、人権尊重思想の普及高揚のための啓発活動を行っています。また、同じ昭和23年に人権擁護委員令が公布され、この制度を恒久的なものとするため昭和24年5月31日人権擁護委員法が制定されました。本年度は、人権擁護委員制度が発足して60周年の節目に当たります。

人権擁護委員は、町長の推薦を受け法務大臣から委嘱され、地域の皆さんの人権を守るため様々な活動に取り組んでいます。困ったことがあれば、まずは人権擁護委員にお気軽にご相談ください。

町内の人権擁護委員の皆さんは、次のとおりです。

●人権擁護委員

区	行政区	人権擁護委員名
香住区	小原	石部賢應
	一日市	畑中清司
村岡区	一日市	長智子
	村岡	田中基彦
入江区	入江	松岡泰子
	日影	西村計一
鍛冶屋	鍛冶屋	水間忠一
	貫田	田尻伊都子

（敬称略）



●問い合わせ先

役場健康福祉部町民課
神戸地方方法務局豊岡支局 ☎ 0796・24・2703

第4回香美町子牛品評会（後期の部） 但馬牛の原産地で切磋琢磨を！



▲【雄・雌の部 一等一席】
「おおみぞ3号」と飼い主の門垣馨さん



▲【去勢の部 金賞一席】
「常富士号」と飼い主の朝倉久子さん

新温泉町の美方郡農村総合研修センターで10月31日、優秀な但馬牛の原産地として、町内産の子牛の発育状況を審査するとともに、生産農家の交流を通じ技術の向上を図る「第4回香美町子牛品評会（後期の部）」が行われました。今回は、今年4月1日から6月30日の間に生まれた子牛39頭（雄・雌の部28頭、去勢の部11頭）が出場しました。主な審査結果は、次のとおりです。（賞、名号、畜主名、産地の順、敬称略）

【雄・雌の部】

一等一席「おおみぞ3号」、門垣馨（小代区実山）
同 二席「たかね（ET）号」、田中一馬（村岡区長瀬）
同 三席「まんてん号」、朝倉里恵（小代区秋岡）

【去勢の部】

金賞一席「常富士号」、朝倉久子（小代区野間谷）
同 二席「照芳号」、淀貴至（香住区丹生地）
同 三席「七谷号」、対中広芳（村岡区丸味）

「おおみぞ3号」の飼い主の門垣さんは「牛は我が子のようなもの。けがをしたり病気にならないように気を付けて育てました。1等1席になるとは思いませんでした。大変うれしいです」と受賞の喜びを語りました。

また、「常富士号」の飼い主の朝倉さんは「親牛の乳がよく出て、この子も生まれたときから、よく食べて病気もせずに元気に育ちました。これからもいい牛を育てていきたいです」と語りました。

●問い合わせ先

役場産業部農林水産課

おめでとうございます 町内から表彰受賞者がありました

- 行政相談委員総務大臣表彰
 - ・ 邊見昭典さん（小代区大谷）
 - 県自治賞（女性活動関係功労）
 - 【女性・消費生活功労】
 - ・ 朝倉千春さん（小代区野間谷）
 - ・ 小林美千代さん（香住区上計）
 - 【福祉功労】
 - ・ 倉橋いく子さん（香住区七日市）
 - ・ 西井京子さん（村岡区福岡）
 - 兵庫県交通安全対策委員会会長表彰（交通安全功労表彰）300日交通死亡事故抑止
 - ・ 香美町
 - 平成20年度交通安全県民大会交通安全功労者（知事感謝状）
 - ・ 小柴邦雄さん（香住区一日市）
 - ・ 田村菊夫さん（村岡区高津）
 - 2008ガーデンコンペ・ひょうご（寄せ植え部門 最優秀 知事賞）
 - ・ 澤村享子さん（村岡区和田）
- （順不同）

～11月は児童虐待防止月間～ 「助けて」の小さなサイン受け止めて

言葉にできない子どもの悲鳴を見ない、聞かないのも虐待です。

あなたのまわりに「虐待を受けたと思われる子ども」がいたら、すぐに連絡してください。連絡した人の秘密は法律で守られます。



児童虐待とは…

身体的虐待・性的虐待・ネグレクト（育児放棄）・心理的虐待（言葉による脅し、無視、差別的発言など）

●連絡先

兵庫県豊岡こども家庭センター
（児童虐待24時間ホットライン）

☎0796・22・9119、0796・22・4389

役場健康福祉部福祉課、各地域局健康福祉課

求 人 情 報

ハローワーク香住（職業安定所）

☎0796・36・0137

（平成20年10月20日現在、順不同）

▽正社員					▽パートほか（正社員以外）				
所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数	所在地・勤務地	事業所名	職種	年齢	人数
香住区香住	マルヤ水産(株)	水産加工員	34以下	1	香住区浦上	(有)三吉(かに楽座甲羅蔵)	旅館業務(7:00~21:30の間で8時間程度)	不問	1
香住区森	(有)西本設備	電気工事士	59以下	1	香住区浦上	(有)三吉(かに楽座甲羅蔵)	旅館業務(7:00~9:30、18:00~21:30)	不問	4
		電気工事士(見習)	30以下	1			旅館接客	不問	3
香住区香住	(有)もりひろ商店	水産加工員	64以下	1	香住区香住	ローソン香美町香住店	コンビニ店員	不問	2
香住区下岡	香住食研(株)	食品製造(鶏の串刺し業務)	不問	2	香住区七日市	ヤマモトロープ	販売	不問	2
		食品製造	不問	5	香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	59以下	2
香住区間室	(有)北近畿環境開発	機械設備管理補助	59以下	1	香住区香住	(株)マルワ水産	水産加工員	不問	3
香住区隼人	マルカツ水産(株)	工場管理者	59以下	1	香住区香住	(株)日本海フーズ	水産物加工員	不問	3
香住区七日市	(株)蔵平水産	製造包装員	59以下	3			店舗販売員	不問	1
香住区沖浦	(株)カネト水産	水産加工員	不問	3			水産物配達員	不問	1
香住区若松	(有)K-SIN TRANSPORT	運転手	不問	2	香住区余部	旬の宿 尾崎屋	接客・清掃など	不問	2
香住区七日市	西村歯科医院	歯科衛生士/助手	不問	1	香住区香住	香美町役場(「ゆうすげ」入所者の介護補助)	介護員(臨時職員)	59以下	2
香住区香住	(株)日本海フーズ	大型車(13tトラック)運転手	64以下	1			介護員(非常勤嘱託職員)	59以下	2
香住区若松	かわばた歯科医院	歯科衛生士	不問	1	香住区香住	(株)ヤマニ水産	お土産・海産物販売	不問	2
香住区森	(株)西山工務店	現場作業員	35以下	2	香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科衛生士	不問	2
香住区七日市	やまだ歯科医院	歯科衛生士	不問	2	香住区香住	(有)三七十	事務	不問	1
香住区香住	(有)三七十	事務	不問	1			雑役	不問	1
		調理師見習	不問	1	村岡区大糠	(株)コメリ中四国地区本部	販売員(パート)	不問	1
村岡区村岡	(株)入江産業	機械加工(オペレーター)	40以下	2	村岡区大糠	(株)ナカケー	レジ部(村岡店)	不問	2
村岡区長瀬	山本工業	土木施工管理	不問	2	村岡区村岡	村岡日石(株)	給油・洗車スタッフ	不問	2
村岡区村岡	エイワ電器(株)	一般組立製造工	40以下	2	村岡区大糠	(株)コメリハードアンドグリーン村岡店	販売員(アルバイト)	不問	2
村岡区宿	上田畜産	畜産業務	不問	1	村岡区大糠	ラーメンかんな	接客・調理補助	不問	2
村岡区福岡	北部ガード	交通誘導	不問	3	村岡区大笹	レンタルショップSKIBOX	レンタル業務	不問	3
小代区城山	(株)出石モータース	営業	不問	1	村岡区宿	上田畜産	畜産業務	不問	1
小代区野間谷	SHT兵庫(株)	開発設計技術者	59以下	1	村岡区村岡	郵便事業(株)八鹿支店	内務(年賀郵便物区分け)	不問	10
					村岡区村岡	社会福祉法人	臨時介護員	不問	2
					小代区神水	みかたこぶしの里	嘱託看護員(看護師)	不問	1

お誕生 こんにちは、赤ちゃん

ご逝去 慎んで、お悔やみ申し上げます

この記事につきましては、関係者の皆さんにホームページ上での公開承諾を得ておりませんので、個人情報保護によりホームページ上での掲載を控させていただきます。

※このコーナーは、先月(10/1~10/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)



※このコーナーは、先月(10/1~10/31)の届出分の内、承諾を得た方のみ掲載しています。(届出順・敬称略)



●役場各課など主な施設の連絡先

役場本庁舎 36・1111(代表)
 総務課 36・1111 企画課 36・1962 税務課 36・1113 会計課 36・4321
 町民課 36・1110 健康課 36・1114 福祉課 36・1964 農林水産課 36・0846
 観光商工課 36・3355 建設課 36・1961 上下水道課 36・0420 議会事務局 36・1963
 村岡地域局 94・0321(代表) 小代地域局 97・3111(代表)
 教育委員会 94・0101 香住分室 36・3764 小代分室 97・3966
 公立香住病院 36・1166 公立村岡病院 94・0111 香住地域福祉センター 36・4345
 香住老人福祉センター 36・5008 村岡老人福祉センター 98・1000
 小代高齢者生活支援センター 97・2202 (全ての施設の市外局番：0796)

まちの出来事

香住小6年 エコキャンドル出前講座 廃食油をかわいいキャンドルに

(香住区)

10月3日、マイバッグ運動の推進など環境保全の啓発に力を注いでいる香美町消費者の会・香住区消費者の会(徳田喜代子会長)の指導の下、香住小学校6年生95人が、天ぷらなどに利用した後の食用油を再利用するエコキャンドルづくりに挑戦し、ごみの削減やリサイクルの大切さを学びました。

▼できあがったキャンドルを手に喜ぶ児童たち



温めた廃食油に凝固剤を入れ、好みの色のクレヨンを細かく削って混ぜ、小ビンなどに流して作るエコキャンドル。アロマオイルで香り付けしたオレンジや緑、青など、2色、3色のカラフルなキャンドルができました。エコキャンドルを初めて作った岸本初音さん(香住区一日市)と谷口美優さん(同区下浜)は「色が混ざったけど、きれいでできました。いつも捨てている油が、キャンドルにできるなんて驚きました」と感想を語りました。

第21回但馬村岡ミニミニ駅伝大会 選手への力走に、大きな声援

(村岡区)

小雨降る10月5日、兎塚中学校周辺コースで行われた但馬村岡ミニミニ駅伝大会。小学生、中学生、一般のそれぞれ男女別6部門に町内外の64チームが参加しました。選手への力走に、沿道の皆さんから大きな声援が送られていました。また、当日は村岡区いずみ会の皆さんによる大鍋と、道の駅八手北の皆さんによるおにぎりが、選手に振る舞われました。成績は次のとおりです。(敬称略)

▼小学生男子の部スタート



【小学生男子の部】1位 ファブリーズ(兎塚小)、2位 長井小B、3位 速攻柴山【同女子の部】1位 NIKO(村岡小)、2位 勝つぞ兎塚、3位 奥佐津小学校、【中学生男子の部】1位 豊岡北中A、2位 市島中、3位 豊岡北中B、【同女子の部】1位 豊岡北中D、2位 市島中B、3位 市島中A、【一般男子の部】1位 温泉走ろう会、2位 八鹿楽走会、3位 スポ21兎塚、【同女子の部】▼1位 チーム秋桜

世代間交流事業「サツマイモ収穫祭」 おイモいっぱい、笑顔もいっぱい

(小代区)

高齢者生活支援センター「いこいの里」駐車場の畑で10月3日、町社会福祉協議会小代支所と町老人クラブ連合会小代支部の共催で行われた世代間交流事業「サツマイモ収穫祭」。小代区内の保育園児や子育てグループの親子、老人クラブ会員など約80人が参加し、芋掘りを通して交流を深めました。



▲大きなイモができました。

サツマイモは、春に保育園児と老人クラブの皆さんが苗を植え、夏の間、園児たちが草を抜くなど大切に世話をしてきました。子どもたちは、老人クラブの皆さんに手伝ってもらいながらイモを掘り出し、「いっぱい掘れた。重い重い」ととても満足そつでした。

村尾愛奈ちゃん(忠宮へき地保育所、6歳、小代区貫田)は、「家に畑はあるけどイモは作ってないから、サツマイモを掘るのは初めてで楽しかった。またしたい」と話していました。

▼ふかしたイモを「はい、どうぞ!」



レクリエーションを楽しんだ後、早速、みんなでおかしたサツマイモをいただきます。

「わしの嫁さんは、べっぴんさんだ」
(村岡区)

村岡区長板の秋祭りの10月8日、江戸時代中期から伝わる郷土芸能「囃子込み」が行われ、子どもたちのおみこしとともに、地元男性が化粧や衣装で「変身」した花嫁行列など約40人が集落内を練り歩き、五穀豊穡を祝い、子孫繁栄を祈願しました。

沿道の皆さんも大喜び



女装も、花嫁になるのも初めてという中村悠佑さん(24歳)は「自分で見てもびっくり。妖怪みたいですが。今日は暑いので化粧が落ちなければ…」と語り、太鼓役の伊井雷太さん(射添中一年)は「自分のときはもったかい花嫁になります」と笑いながら話していました。



▲家族揃って？記念撮影。化粧や身支度にも力が入ります。

「大役選ばれてうれしい！」
(香住区)

10月9日から13日に運行されたJR西日本(株)の臨時列車「あまるベマリン号」。余部鉄橋を渡る昔懐かしい国鉄当時の車両を見ようと全国から鉄道ファンや観光客が訪れていました。

体験乗車で絶景を楽しむ生徒たち



この臨時列車の前後に取り付けられる直径72cmの円形のヘッドマークを香住第二中学校の3年生がデザイン。日本海の波間にカニが顔を出し、青空と山、鉄橋にはもみじが舞う季節感のある絵を描きました。10月12日に体験乗車した生徒たちは、ホームに入ってきた臨時列車の写真撮影したり、鉄橋を渡る車窓からの絶景を楽しみました。



▲臨時列車の前で記念写真



▲ヘッドマークの図柄

町内外から172人が腕競う
(香住区)

今年7月にしかげ香苑の面的な整備が完成したことを記念して、10月23日、24日にグランドゴルフ大会が開催され、町内外から172人が参加しました。時折小雨が振るあいにくの天気でしたが、選手はコースの起伏を考へて一打一打慎重に打ち、2日間で32ホールを回った合計打数を競いました。

表彰された上位入賞者の皆さん



中村克三さん(村岡区宿)は「いつもは土のグラウンドですが、芝生の上でのプレイは気持ちがいいですね。皆さんと交流できたことも、とても楽しかったです」と語っていました。主な成績は次のとおりです。



▲一打入魂！プレイを楽しむ選手の皆さん

ふるさとを訪ねて

柴山地区

柴山地区は、浦上、上計、沖浦からなります。

この地区は、天然の良港で但馬唯一の避難港で知られる柴山湾を取り囲むように集落が並び、漁業・水産業のまちとして繁栄しています。

この湾は、その昔、舟生の浦あるいは丹生港と言われていましたが、沖合を航行する船が無南垣の柴山（標高223.3 m）を目標にして入港していたので、いつの間にか柴山港と言われるようになったそうです。

冬の味覚の王様“松葉ガニ”で有名な“柴山”は、とれたての松葉ガニを求めて毎年大勢のカニすき客が詰めかけます。11月の解禁日には“祝！かすみ松葉ガニ初せりまつり”が、3月には“かに感謝祭”が開催されるなど、カニの本場として大変賑わいます。

夏は、柴山海水浴場や船で渡る白ヶ浦島などで海水浴や磯遊びが楽しめ、町内外から家族連れなどが訪れます。また、山陰海岸国立公園の奇岩に富む海岸美と、天候に左右されにくい穏やかな湾を生かし、海洋レジャーの基地としても注目され、カヌーやヨットといったマリンスポーツ、魚釣りなどが盛んに行われています。平成18年に行われた「のじぎく兵庫国体」では、デモンストレーションとしてのスポーツ行事“カヌーマラソン”や“カヌーオリエンテーリング”の会場にもなりました。

大正10年から昭和15年にかけて金の発掘が盛んだった沖浦鉦山跡に近い岩場には、町指定天然記念物で金色の葉を持つ「黄金の松」が自生しており、地元の皆さんによる手厚い保護

◆地区の世帯数と人口
(H20.10.1 現在 町民課調べ)

区名	世帯数	人口		
		男	女	計
浦上	56	86	88	174
上計	275	436	493	929
沖浦	146	222	250	472
合計	477	744	831	1,575



活動が行われています。

伝統芸能では、沖浦の三番叟が有名で、秋祭りが近づく毎晩稽古が行われるなど、今でも大切に受け継がれ、世代を超えた交流の場にもなっています。

この地区は花づくりが大変盛んで、さまざまな団体がいろいろな所で継続的に取り組んでいます。特に地区を横断する(主)香美久美浜線は『柴山フラワーロード』と呼ばれ、四季折々に色とりどりの花々が植えられ、道行く人の目を楽しませてくれています。

ふるさと香美 (第4号) 平成20年11月13日発行
発行/兵庫県香美町 企画編集/総務部企画課

〒669-6692 兵庫県美方郡香美町香住区香住870の1
tel 0796・36・1111 fax 0796・36・3809

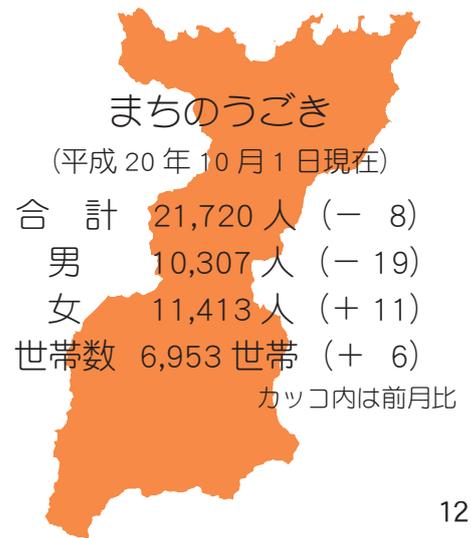
電子メール info@town.mikata-kami.lg.jp
ホームページ http://www.town.mikata-kami.lg.jp

「子どもが成人したら、いつしよにサクラの下で花見がしたい」という方もいらっしゃるかもしれません。今回の記念植樹によって、新たな「夢」や「目標」が生まれ、人と人との「ぎずな」を一層強めるんだなあと思いました。

サクラの成長とともに、皆さんの楽しみや夢がどんどん膨らんでいき、花も笑顔も満開になる日が早く訪れるといいですね。(今西)

10月26日、町内各区ごとに行われたサクラ記念植樹の森づくり。ご家族連れ、ご夫婦、同級生など81組の皆さんが、それぞれに共有する「記念」や「特別な思い」を込めてサクラの植樹に取り組みました。私が取材した香住区ではオオヤマザクラが植樹されました。今回植えられた1m80cmほどの苗木は、5年ほどで花を咲かせ、成長すると高さが10〜15mになることもあるそうです。

編集後記



この「広報ふるさと香美」は、自然環境を考えてソイ(大豆油)インキ、再生紙を使用しています。